

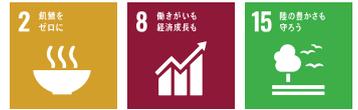
第5章 にぎわいと輝きのあるまちづくり



5-1-1 農林業の振興

本市の状況

関連 SDGs



基本目標

5

にぎわいと輝きのあるまちづくり

- 農業就業者の高齢化や担い手不足が進行しています。農地は、農作物の生産という本来の機能の他にも、洪水の防止、自然環境の保全、地下水涵養、良好な景観の形成など、市民の住環境や教育環境の充実などにも大きく寄与しており、農地の保全や活用を進めていく必要があります。
- 優良農地の維持や農作業の効率化を図るため、農業用水施設の維持・更新、農道の拡幅や舗装整備等の農業基盤の整備に取り組んでいます。
- 農業用排水路は農業生産の維持、農業経営の安定を図るだけでなく、農地や農業用施設の防災面において重要な機能を担うことから、国営総合農地防災事業の積極的な支援に努め、早期完成に向けて取り組んでいます。
- 国・県における事業も活用しつつ、農業者の育成・支援をはじめ、希望者の就農に向けた相談支援や小規模な農家の経営基盤の強化や農地等の集積など、新規参入を可能にする支援体制づくりに取り組んでいます。
- 令和7年度から、東京圏から岩出市に移住し、農林水産業に就業するなどの要件に該当する人も、移住支援金の対象に加わりました。
- 農地の無断転用の防止や耕作放棄地の解消などを目的としたパトロールを実施し、農地利用の最適化に取り組んでいます。
- 令和7年度から農地の貸し借りの制度が変わり、原則として農地の権利設定（貸借）等は農用地利用集積等促進計画に一本化されました。
- 市民農園運営事業では、市民が四季をとおして農作業と収穫を楽しみ、農業への理解を深めるため、市民農園を貸し出すことにより、農業に親しむ場の提供に取り組んでいます。
- 市の農業振興・観光振興につなげるため、JAわかやま紀の里地域本部や農業団体などと連携し、農産物の直売施設及び道の駅である「根来さくらの里」の経営の効率化・安定化に努め、地元農産物の収益確保に取り組んでいます。



- 令和6年度、築20年経過した「根来さくらの里」の改修工事を行い、店舗前の屋根設置、店内外の陳列棚の整備、キャッシュレス決済対応レジの導入、Wi-Fi環境の整備、大型モニターの設置などを行い、地元農産物の販売促進による産業の活性化の推進に取り組んでいます。
- JAわかやま紀の里地域本部と連携して岩出市産の安全・安心な農産物のブランド化に取り組んでいます。
- 特産品の育成を図り、農産物の高付加価値化を推進するため、市が指定する奨励作物（ねごろ大唐、なばな、クレソン）を作付、販売を行う農業者を支援しています。
- イノシシ等の農作物への被害軽減のため、猟友会等の関係団体と連携しながら、電気柵の設置や有害鳥獣の捕獲に対する補助を実施し、また、水稻へのジャンボタニシの被害抑制を図るため、指定防除農薬の購入費用の一部を補助するなど、農業経営の安定に努めています。
- 既設林道の保全・管理に取り組むとともに、県や関係団体と協力し、紀州材の需要拡大に取り組んでいます。

主な取組方針 (戦略) …総合戦略による取組方針

取組方針 1 農地等の保全

- (戦略) ● 意欲ある担い手への農地集積や遊休農地の発生防止に取り組みます。
- 農道や水路の整備をすることで農地の保全及び農業用水路の確保を図ります。
 - 農地の無断転用の防止や耕作放棄地の解消を図り、農地の保全に取り組みます。

取組方針 2 農林業経営基盤の充実

- (戦略) ● JA わかやま紀の里地域本部等と連携し、生産拡大、販売促進に取り組みます。
- (戦略) ● 関係機関と連携し、特産品の育成を図り、農産物の高付加価値化を図ります。
- (戦略) ● 農産物の安全確保と道の駅「根来さくらの里」を活用した販売体制の強化に取り組みます。
- 鳥獣被害対策を講じ、農業経営の安定化を図るとともに、耕作放棄地の増加防止に取り組みます。
 - 既設林道の保全・管理に取り組むとともに、県や関係団体と協力し、紀州材の需要拡大を促進します。

取組方針 3 担い手の育成と確保

- (戦略) ● 農業の担い手の育成・確保するために、関係機関との連携や、国・県における事業も活用しつつ、相談から就農、経営定着まで支援に努めます。
- 認定農業者などの中心経営体を中心とした効率的かつ安定的な経営体の育成に取り組みます。

評価指標 (戦略) …総合戦略 KPI	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
農林業の振興に満足している市民の割合	41.0%	44.3%
農用地利用集積面積 (年間)	11ha	13ha
(戦略) 道の駅「根来さくらの里」の年間売上	233,763 千円	240,000 千円
(戦略) 奨励作物の作付面積	89.5 a	134.0 a

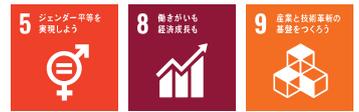
関連する個別計画	計画期間
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	令和 5 年度～
鳥獣被害防止計画	令和 8 年度～令和 10 年度
農業振興地域整備計画	平成 2 年度～
森林整備計画	令和 4 年度～令和 13 年度

5-1-2

商工業の振興

本市の状況

関連 SDGs



基本目標

5

にぎわいと輝きのあるまちづくり

- 国道 24 号・主要県道・京奈和自動車道岩出根来インターチェンジなど、交通アクセスの良さから、大型店舗やチェーン店を中心にロードサイドショップの出店が続いています。市では、商工会などと連携しながら、地域に根ざした商店、地元企業の支援、活性化に取り組んでいます。
- 京奈和自動車道岩出根来インターチェンジ開通により、交通アクセスの良さから、製造・物流分野の企業進出が見られました。本市では、大規模な一団の土地の確保が容易ではないため、新規企業立地計画の情報収集に努め、県との連携を図りながら、地域経済の活性化、雇用創出につながる企業の進出支援に取り組んでいます。
- 半島振興法に基づく産業振興促進計画や、中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画について、国から認定を受け、税優遇等により設備投資や、労働生産性を向上させる先端設備等の導入を支援し、地域経済の基盤となる産業育成に努めています。
- ふるさと納税の返礼品として地元産品を活用し、地元特産品等の PR や販路拡大等による地元事業者の活性化を図っています。
- 市内事業者への観光イベント参加の呼びかけなど地域事業者の活性化に取り組んでいます。今後は、さらに観光産業と連携した商工業の魅力を高める取組を進める必要があります。
- 商工業者の経営支援や地域活性化に取り組む商工会の運営支援を行うとともに、商工会や金融機関などと連携して、様々な課題を抱える市内事業者に対する総合的な支援体制の構築・拡充に取り組んでいます。



- 地域経済の活力を高めるため、商工会、金融機関等と連携して、創業のきっかけづくりから創業後の起業支援まで行うことで、創業しやすい環境づくりに取り組んでいます。
- 和歌山県事業承継ネットワークに加入し、関係機関の連携体制を強化し、切れ目のない支援により、中小企業の円滑な事業承継のための相談窓口の周知に取り組んでいます。
- 大型店舗やチェーン店などのロードサイドショップ、商店や地元企業の出店、創業による地域経済の活性化、雇用の創出を図っています。
- 若者、女性、高齢者、障害者等多様な人材がその能力を發揮できるよう、和歌山公共職業安定所（ハローワーク）等の関係機関と連携した雇用促進に取り組み、人材確保を支援しています。

小売業の売場面積 (単位:㎡)



資料：経済産業省「商業統計」、総務省「経済センサス」

民営事業所数、従業員数 (単位:事業所、人)



資料：総務省「事業所・企業統計」・「経済センサス」

主な取組方針 (戦略) …総合戦略による取組方針

取組方針 1 商工業・サービス業の活性化

- (戦略) ●市内商工業者の安定経営のため、経営相談や資金調達支援などに取り組む商工会への支援を行います。
 - 商工会と連携し、プレミアム付き商品券の発行など地域産業の活性化に取り組みます。
- (戦略) ●ふるさと納税の返礼品として地元産品を活用することにより、地元特産品等の PR や販路拡大等による地元事業者の活性化に取り組みます。
- (戦略) ●商工会等と連携して、創業支援セミナーを開催し、創業希望者に経営・財務・人材育成・販路開拓など創業に必要な知識習得を支援します。
- (戦略) ●商工会にワンストップ相談窓口を設置し、経営指導員が創業者に効果的な支援を行います。

取組方針 2 雇用の確保

- (戦略) ●和歌山公共職業安定所（ハローワーク）等関係機関と連携し、就労機会の提供に取り組みます。
- (戦略) ●県と連携を図りながら、情報収集に努め、税優遇や奨励金等を活用した企業誘致や設備投資への支援に取り組みます。

評価指標 (戦略) …総合戦略 KPI	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
企業の誘致に満足している市民の割合	13.7%	15.3%
事業所数	1,594 事業所	1,670 事業所
商工会会員数	664 事業所	735 事業所
(戦略) 誘致企業数	0 社	1 社
(戦略) 創業セミナー開催数	8 回	8 回
(戦略) 金融機関との連携件数	19 件	21 件

関連する個別計画	計画期間
産業振興促進計画	令和 7 年度～令和 11 年度
創業支援事業計画	平成 27 年度～令和 11 年度

5-1-3 観光の振興

本市の状況

関連 SDGs



基本目標

5

にぎわいと輝きのあるまちづくり

- 今後、定住人口の減少が見込まれる当市において、人口減少の影響を緩和し、地域経済を活性化させるため、観光客等、交流人口の拡大、経済効果の創出に取り組んでいます。
- 根来寺、旧和歌山県議会議事堂（一乗閣）、ねごろ歴史資料館、道の駅「ねごろ歴史の丘」、根来寺遺跡展示施設、リニューアルした道の駅「根来さくらの里」など、文化財、展示施設、観光施設が集約している根来地域を中心として、観光PRに取り組んでいます。
- 根来街道グリーンツーリズム振興協議会（岩出市、泉南市、和歌山県、大阪府、民間団体）、紀泉連絡会（岩出市、和歌山市、紀の川市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町）など、周辺市町と協力し、広域観光の推進に取り組んでいます。
- 観光協会等と連携のもと、パンフレット、ウェブサイト、SNS等様々な媒体を活用し観光情報発信に取り組むとともに、「紀州根来寺かくばん祭り」、「花見時の大門ライトアップ」、「いわで夏まつり」などの恒例イベントに加え、「岩出 食と観光のフェスタ」などの新たなイベントのPRなど、本市の魅力発信の強化に取り組んでいます。
- 令和7年度から、総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、市の観光情報等の取得・発信などに取り組む「地域おこし協力隊」を任用しています。
- 「岩出駅前活性化事業」として、観光周遊の促進や公共交通の活用、地域住民と観光客の交流機会の創出を通じて、地域経済の活性化を図るため、JR岩出駅前に観光案内所兼バス待機所を新設し、駅前から案内所までの歩道を整備しています。
- 駅前活性化、観光周遊の促進等について、地域の多様な関係者（行政、観光・交通事業者、商工業者、教育機関など）が連携し、市民と考えるワークショップを実施しています。



- 新設する観光案内所について、付加価値の高い情報提供機能を備えた施設とするため、観光案内人の設置や、地元住民と観光客が交流できるイベントの定期開催などを検討しています。また、岩出駅と観光案内所を結ぶ歩道でのにぎわい創出のため、駅前店舗と連携したイベントの定期開催など、観光案内所と店舗への誘客の取組を検討しています。
- 「大阪方面路線バス」と「岩出市巡回バス」の発着地点がJR岩出駅前に集約化されることにより、観光案内所の設置場所である岩出駅前から、観光施設が集約している根来地域や岩出市内の各観光施設、飲食店等へ観光客が市内を周遊できる、公共交通機関を活用したルートの構築を検討しています。
- 本市の観光資源などの魅力発信を強化することにより、岩出市が何度も訪れたい場所、安心して暮らせる場所だということをPRし、岩出市に関わりを持とうとしてくれる人や、ふるさと納税などにより岩出市を応援したい人、岩出市に出店したい人など関係人口の拡大や、岩出市で暮らしたいと移住する人の増加に努めています。

岩出
根来

主な取組方針 (戦略) …総合戦略による取組方針

取組方針 1 広域連携の推進

- (戦略) ● 県内広域連携や府県境を越えた周辺市町と協力し、広域的な観光ネットワークの進展に取り組みます。
- (戦略) ● 各市町の観光資源をつなぐ周遊ルートの定着と連携イベントの開催に取り組みます。

取組方針 2 観光情報の発信

- (戦略) ● 観光協会との連携を図り、市観光イベントの充実と積極的なプロモーション活動により観光イメージの確立と観光 PR の強化に努めます。
- (戦略) ● 国内外から観光客を呼び込むため、多様な情報伝達手段を活用した効果的な仕組みの構築に取り組みます。

取組方針 3 観光周遊の活性化

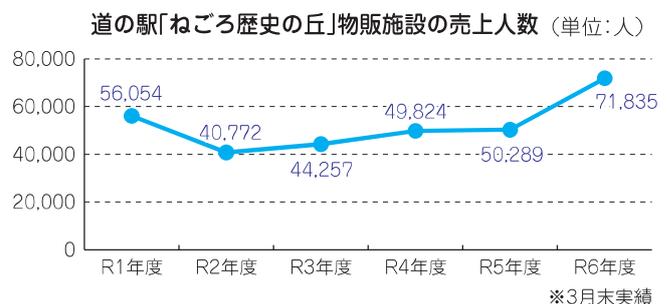
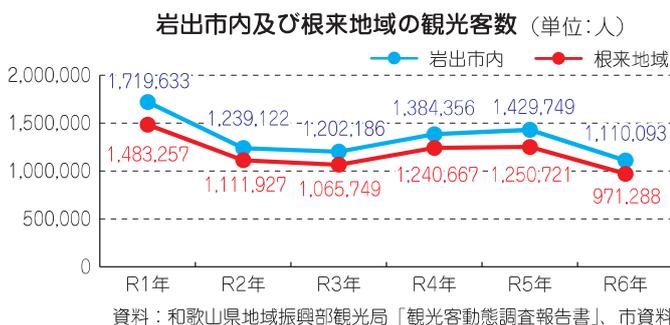
- (戦略) ● 観光案内人を設置し、地元住民と観光客が交流できるイベントを定期開催するなど、駅前観光案内所の機能向上に取り組みます。
- (戦略) ● 岩出駅前店舗と連携したイベントの開催など、岩出駅と観光案内所を結ぶ歩道でのにぎわい創出に取り組みます。
- (戦略) ● 岩出駅前から、観光施設が集約している根来地域や岩出市内の各観光施設、飲食店等へのルートの構築など、観光周遊の活性化に取り組みます。

取組方針 4 交流人口、関係人口及び移住者の増加

- (戦略) ● 本市の観光資源などの魅力発信を強化することにより、岩出市に関わりを持とうとしてくれる人や、ふるさと納税などにより岩出市を応援したい人、岩出市に出店したい人など関係人口の拡大や、岩出市で暮らしたいと移住する人の増加に努めます。

評価指標 (戦略) …総合戦略 KPI	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
観光、商工に満足している市民の割合	25.6%	28.1%
特産品の開発に満足している市民の割合	25.7%	28.3%
年間観光客数	111 万人	200 万人
(戦略) 根来地域の年間観光客数	97 万人	160 万人
(戦略) 道の駅への年間バス立ち寄り数	10 台	40 台
(戦略) 道の駅「ねごろ歴史の丘」物販施設の年間売上人数	71,835 人	94,000 人
(戦略) 道の駅「ねごろ歴史の丘」物販施設の年間売上金額	85,300 千円	110,500 千円

関連する個別計画	計画期間
観光ビジョン	令和 7 年度～令和 16 年度



5-2-1 文化遺産の保護・活用

本市の状況

関連 SDGs



基本目標

5

にぎわいと輝きのあるまちづくり

- 少子高齢化や生活様式の変化などにより地域に根付く文化遺産の保護・伝承が困難になる中、文化遺産の調査研究を行い、文化遺産の継承に取り組んでいます。
- 地域の文化遺産について、調査で得られた資料を適切に保存・整理するとともに、文化遺産を公開・活用し、広くふるさとの文化遺産を知ってもらうことで、市民のふるさと意識の醸成に努めています。
- 埋蔵文化財包蔵地での開発行為や土木工事については、関係機関と連携を図り、必要に応じて確認調査、工事立会を行い、埋蔵文化財が確認された場合には、記録保存のための発掘調査を行うことで適切な保護資料の作成に努めています。
- 市内に所在する文化遺産の保護・活用を図るため、文化遺産の所有者や管理者と連携を図り、文化遺産の状況の確認を定期的に行うことで適切な維持管理に取り組んでいます。
- 指定文化財の所有者及び管理者に対して、指定文化財の維持・管理及び修理のために必要な経費の一部を補助するなど、適切な指定文化財の保護に努めています。
- 国指定「史跡根来寺境内」に所在する文化遺産を保護するため、『史跡根来寺境内保存管理計画書』に基づき、根来寺境内とその周辺の適切な保全・管理に取り組んでいます。
- 関係機関と協議を行いながら、文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画である文化財保存活用地域計画の策定に向けて取り組んでいます。



- 指定・未指定を問わず市内の文化財の把握に取り組み、リスト化し、文化財保存活用地域計画に反映させます。
- 「旧和歌山県議会議事堂」は、現存最古の木造和風意匠の貴重な建造物として国の重要文化財に指定されています。根来寺遺跡のガイダンス施設である「ねごろ歴史資料館」では、埋蔵文化財出土品などを展示しており、「根来寺遺跡展示施設」では、中世根来寺の遺構・遺物を精巧に再現展示しています。
- 「岩出市民俗資料館」は、市内に残る様々な文化遺産の調査や埋蔵文化財の発掘調査で得られた資料の保存に努めています。また、根来寺との連携による根来寺関連宝物展などの展覧事業を実施しています。

旧和歌山県議会議事堂の利用者数 (単位:人)



ねごろ歴史資料館の利用者数 (単位:人)



主な取組方針 (戦略) …総合戦略による取組方針

取組方針 1 文化遺産の調査研究と保護・活用

- 「史跡根来寺境内」の文化遺産については、関係機関と連携を図り、保全・活用に取り組みます。
- 市内の文化遺産を調査研究し、関係機関などと基礎情報の共有化を図ります。
- 文化遺産については、周辺環境も含めた保護と活用に努めます。
- 関係機関と協議を行いながら、文化財保存活用地域計画を策定し、計画的に保護・活用に取り組みます。

取組方針 2 文化遺産の公開

- (戦略) ● 「ねごろ歴史資料館」「根来寺遺跡展示施設」「旧和歌山県議会議事堂」「岩出市民俗資料館」等の施設において、文化遺産の展示、保護、活用に取り組みます。
- (戦略) ● 地域の文化遺産と、生まれた背景などを伝え、知ってもらうことで市民のふるさとの関心と愛着心を喚起し、ふるさと意識の醸成に努めます。

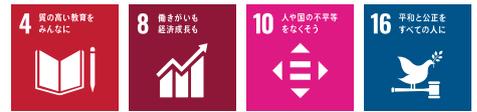
評価指標 (戦略) …総合戦略 KPI	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
文化財等の保護と活用に満足している市民の割合	67.8%	70.9%
(戦略) ねごろ歴史資料館の年間利用者数	15,539 人	16,300 人
(戦略) 旧和歌山県議会議事堂の年間利用者数	26,262 人	36,000 人

関連する個別計画	計画期間
教育振興基本計画 (教育大綱)	令和 8 年度～令和 12 年度
史跡根来寺境内保存管理計画書	平成 25 年度～

5-2-2 歴史・伝統文化の振興

本市の状況

関連 SDGs

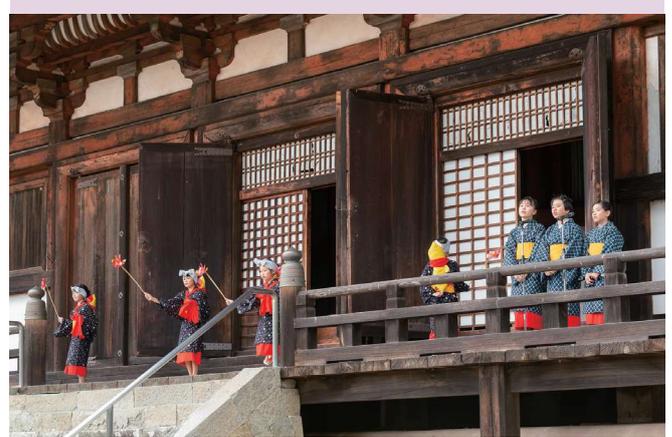


基本目標

5

にぎわいと輝きのあるまちづくり

- 地域で生まれ、保存・伝承されてきた行事や伝統文化も、住民の減少や少子高齢化等の影響により維持・存続が難しくなっています。これらを未来へ継承するために、伝統文化等の保存と活用を積極的に進め、ふるさとに誇りと愛着を持てるふるさと意識の醸成に取り組んでいます。
- 江戸時代から唄い始められたと推考される「根来の子守唄」は、歌詞も根来寺に関連のあるものが多く、その歴史が語り継がれています。本市では、令和6年3月に「根来の子守唄」を文化資源に認定し、子守唄を未来に継承する取組を支援しています。
- 「根来の子守唄」を後世に残すため「根来の子守唄保存会」や、小中学生で組織する「根来の子守唄つくし」の活動を支援し、伝統文化の保存と継承者の育成に取り組んでいます。
- 根来塗漆器は、根来寺の衆徒が寺内で使用するために製作した仏具や食器類の朱塗器が根来塗の起こりと言われています。
- 民俗資料館では、根来塗への理解と関心を深めてもらうため、根来塗漆器の収集資料品展の実施や、根来塗講座の開設により、人材育成と伝統文化の継承に取り組んでいます。
- 民俗資料館では、常設展をはじめ企画展や所蔵品展、収集資料品展など展観事業の内容の充実やPR方法の工夫に努め、歴史・伝統文化の振興に取り組んでいます。



- 民俗資料館は、生涯学習・郷土学習の拠点施設として、市民や次代を担う児童・生徒が郷土の歴史・伝統文化に関心を持ち、理解を深めることができるよう、歴史講座や歴史学習会等を開催するとともに、学校における「郷土学習」の支援に努めています。
- 民俗資料館では、施設の老朽化に伴う改修など施設整備やサービスの向上、資料収集の充実を図り、施設利用の促進に取り組んでいます。
- 大阪府内からの玄関口に位置する、根来寺、ねごろ歴史の丘、和歌山県植物公園緑花センター、根来山げんきの森、近畿大学生物理工学部、民俗資料館、岩出図書館を文化文教ゾーンと位置づけ連携し、歴史的文化資源と豊かな自然が一体となり、地域の文化振興に努めています。

民俗資料館の年間利用者数（単位：人）



主な取組方針 (戦略) …総合戦略による取組方針

取組方針 1 歴史・文化資源の活用

- 地域住民が文化遺産を大切に、「ふるさと岩出」に誇りと愛着が持てるよう歴史・伝統文化の振興に努めます。
- 講演会や歴史講座、歴史学習会を開催することで、郷土の歴史や成り立ちについて学べる機会を提供します。
- 民俗資料館では、歴史・文化などの地域情報の提供を行うため、施設整備や資料収集の充実に取り組みます。
- 根来寺を中心とする地域の歴史的資源を活用し、施設の利用促進を図るため、文化文教ゾーンの関係機関が連携し、合同でのイベント開催や相互 PR に取り組みます。

取組方針 2 伝統文化の継承

- (戦略) ● 本市の伝統文化である「根来の子守唄」や「根来塗」を後世に伝えるため、保存・継承活動を支援します。
- 地域の伝統文化を未来に伝えるため、市民に広く周知し、伝統文化を継承する担い手を育みます。

取組方針 3 ふるさと意識の醸成

- (戦略) ● 歴史講座や歴史学習会、学校における「郷土学習」等、様々な機会を通じて「ふるさと意識の醸成」に努め、本市への定住意識の向上、関係人口の拡大を図ります。

評価指標 (戦略) …総合戦略 KPI	現状値 (令和 6 年度)	目標値 (令和 12 年度)
根来塗講座受講生数	46 人	50 人
民俗資料館の年間利用者数	42,862 人	45,000 人
(戦略) 歴史講座参加人数	167 人	180 人

関連する個別計画	計画期間
教育振興基本計画 (教育大綱)	令和 8 年度～令和 12 年度

